

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 620502	消防団運営管理事業				主管課名	防災安全課			
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	近藤 友久			
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち								
		基本事業	消防の充実								
(1)事業の概要											
消防団の運営管理に必要な費用 ・人件費（報酬、退職報償金、公務災害負担金） ・災害時出動・訓練手当 ・被服費 ・分団及び女性消防団運営費交付金						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
						名 称		単 位			
						消防団分団数		分団			
						その指標					
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		消防団活動に必要な被服の貸与、団員報酬や出動・訓練手当の支払い、各種研修等の実施									
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容							
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
消防団員						名 称		単 位			
						消防団員数		人			
						その指標					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
防火、防災活動が速やかにできる。						名 称		単 位			
						訓練参加延べ人数		人			
						その指標					
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
生命と財産を守る。						名 称		単 位			
						消防団員実数		人			
						火災発生件数		件			
						消防水利設置数		ヶ所			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		分団	14	15	15	15	15	15			
(6)の対象指標		人	331	363	360	360	360	360			
(7)の成果指標		人	5,836	5,686	5,000	5,000	5,000	5,000			
(8)の結果の成果指標		人	331	363	360	360	360	360			
		件	29	33	20	20	20	20			
		ヶ所	753	758	758	758	758	758			
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	09	項	01	目 01
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	43,859	51,219	52,072	52,746	52,746	52,746			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	11,563	13,099	25,572	25,572	25,572	25,572			
	一般財源	千円	32,296	38,120	26,500	27,174	27,174	27,174			
人件費B		千円	5,364	5,836	5,836	5,836	5,836	5,836			
正職員従事時間×人数		時間×人	350×4	500×3	500×3	500×3	500×3	500×3			
正職員以外の人件費		千円	200	200	200	200	200	200			
その他費用C		千円	602	906	600	600	600	600			
トータルコストA+B+C		千円	49,825	57,961	58,508	59,182	59,182	59,182			
単位あたりコスト		千円/人	151	160	163	164	164	164			
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/									
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	620502消防団運営管理事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和23年 から		社会情勢の変化により、消防団員の新規採用が難しくなっており、また、消防団のあり方について検討すべきであるとの意見も出ている。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		
消防組織法に基づき、消防団を整備した。			
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？			
変化していない		変化した内容	
変化している		消防団員の確保が難しくなっている。	

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令		
			自治事務	→	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
					根拠法令	消防組織法	
					この事務を行う根拠又は理由	消防組織法により、消防団の設置は市が行うこととなっている。	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由		
			結びつかない	→			
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容		
			できない	→			
				拡大			
				縮小			
(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容				
	できない	→					
		追加					
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→	理由又は内容			
		多少影響がある					
		影響はない					
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	災害の発生件数によるため。		
		できない					
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	ある	内容	
		ない	→				類似事業との再編の可能性
効率性	(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
		ない					
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容				
	ない						
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
		ない					
		現状で適正					
		検討が必要					
		受益者がいない					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	分団員数や管轄区域など、消防組織の見直しや強化策を策定していく。					